

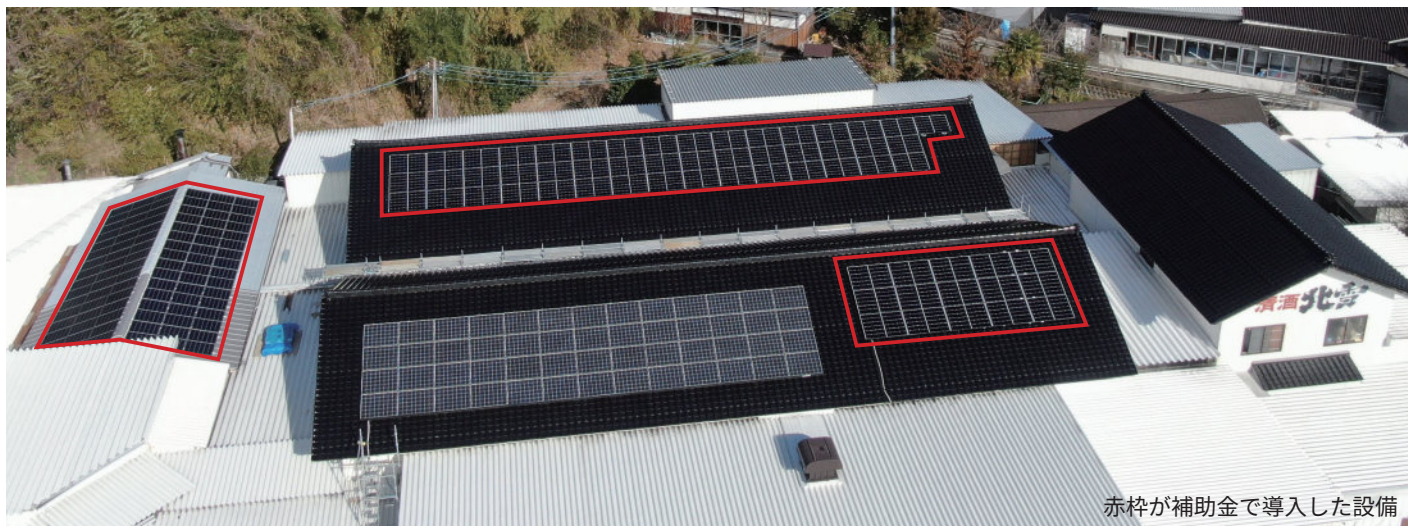
導入事例  
CASE 8



地域と手を携えて脱炭素化を推進し、伝統と技術の融合した酒蔵を目指す。

# 株式会社北雪酒造

【事業実施場所】佐渡市徳和 【設立年】1948年（昭和23年）【資本金】1,000万円 【従業員数】47名  
【事業内容】酒類醸造業、不動産賃貸業



赤枠が補助金で導入した設備



## 電気代高騰への対応、地球温暖化対策にも取り組んでいく。

新型コロナウイルスによる制約が解かれ、日本酒の生産・出荷が元に戻りつつある状況ではあるが、電気代高騰が経営において大きな課題となっている。また、省エネ・地球温暖化対策は社会全体が取り組むべき課題であり、貢献していかなければならない。こうした背景から、太陽光発電設備の導入を決定した。

今回導入した太陽光発電設備により、自社のデマンド抑制、電気使用量の削減を実現し、コスト削減とCO<sub>2</sub>排出量削減を期待している。

## 様々な取り組みを通して、エネルギーの削減に取り組む。地元をこざわり、地元と共にさらなるCO<sub>2</sub>削減に挑戦していく。

生原酒を貯蔵するタンクを冷媒付きのサーマルタンクにしたことで、通常タンクからビン詰め・冷蔵庫保存を行った場合と比べて約70%の省エネを図っている。このほか工場内の照明をLEDにすることで使用する電気を削減するなど、様々な省エネ対策を行ってきた。また、

製造過程で発生する糠を土壌改良、肥料として地元農家に安価で供給することで資源の有効活用を図っている。今後は、化粧箱、ビニール袋の廃止による資源の無駄削減や原料米の多くを地元産で賄うことで移送時に発生するCO<sub>2</sub>削減も図っていく。

### ■ 太陽光発電設備 基本情報 (今回導入設備)

導入方式	自己所有	事業期間（稼働予定）	2023年12月～24年2月（24年6月）
年間予想発電量（kWh/年）	51,350 kWh/年	総事業費・補助金額（税抜）	9,000,000円（補助金1,880,000円）
コスト効果（円/年）	1,631,399円/年（高圧）※単価31.77円として算定		

### ■ 太陽光電池モジュール

メーカー・型番	LONGi・LR5-54HTH-435M		
出力	435W	設置枚数	109枚
		設備容量	47.42kW

### ■ パワーコンディショナー

メーカー・型番	HUAWEI・SUN2000-50KTL-NHM3		
設置台数	1台	定格出力	50.0kW
		合計出力	50.0kW